

学部学科研究会 **—大学の模擬講義を受けました—**

12月17日（金）学部学科研究会が行われました。全部で12分野の講座が開かれ、生徒はそれぞれ希望の講義を真剣に受けていました。進路について考える良い機会となりました。

1 テーマ 「模擬講義を受け、学問・進路について考える」

- 2 目的 ①大学の先生方の講義を聴くことで見識を高めさせる。
②学問分野全体を見渡した上で、関心のある分野を見だし、自己の進路を明確にするための一助とする。

3 講座分野と生徒の感想



①人文科学Ⅰ 『日本語の連体修飾』

富山大学 人文学部 人文学科 教授 樋野 幸男 先生

- ・あいみよんの「マリーゴールド」の歌詞を用いて連体修飾を確認するのが面白いと思いました。確認したいときは好きな歌でやってみるのもありかなと思いました。（1年男子）
- ・言語に興味を持っているので、講義を聴いてより興味がわいた。文系でも理系の教科が必要で、特に言語学は理系に近いところがあると聞いたので、5教科の学習を満遍なくやろうと思った。（2年女子）



②人文科学Ⅱ 『ルール・リテラシー』

富山大学 人文学部 人文学科 教授 佐藤 裕 先生

- ・ルールはペナルティによって守らせることができないことが分かりました。少し難しい話だったけど、人文学部でどのようなことを学ぶのかを知ることができました。（1年女子）
- ・縛るものではなくルールによって人々の「共働」を作り出すという話が参考になりました。規則やルールを作って終わりではなく、そこから人々に守ってもらうにはどうすればよいか考えることが必要だと分かりました。（2年男子）



③社会科学Ⅰ 『経営学の考え方』

富山大学 経済学部 経営学科 講師 高木 修一 先生

- ・リーダーの3つの考え方を知ることによって、リーダーには何が必要なのかを考えるきっかけになった。たくさんの考え方があったが、良いところや悪いところがあり、一つの正解はないと分かった。（2年女子）
- ・経営学は常に実社会との関係を念頭に考え続ける学問だということが印象に残った。高校とは違い、大学では1つのことを探究できるので思考力が大切だと思った。（2年女子）



④社会科学Ⅱ 『SNS時代の名誉毀損』

富山大学 経済学部 経営法学科 講師 木戸 茜 先生

- ・ SNSの名誉毀損について初めて知ることばかりで驚きました。「法律が今の時代に追いついていない」という言葉が面白かったです。（2年女子）
- ・ 法律はもう少し難しいことだと思っていたけれど、意外とわかりやすく興味を持ちました。今の時代は誰もが加害者や被害者になる恐れがあるので、気を付けてSNSをうまく使っていきたいです。（2年女子）



⑤教育 『保育者の仕事ウォッチング』

富山国際大学 子ども育成学部 子ども育成学科
准教授 石倉 卓子 先生

- ・ 保育者は、子どもの今だけに関わるのではなく、子どもの親や子どもの未来にも関わる仕事だと知りました。（1年女子）
- ・ 一人ひとりに寄り添って、子どもたちにとって心地よい環境を作るという話を聞き、子どもだけでなく、友達や部活動などの人間関係にも言えることだと思った。（2年女子）



⑥理学・工学Ⅰ 『理学って何？地球温暖化なのに大雪？』

富山大学 理学部 生物圏環境科学科 教授 青木 一真 先生

- ・ 地球温暖化が進んでおり、日本は一人当たりのCO₂の排出量が多いことがわかった。私は講師の先生の「夢をもって、高校のレベルを気にせず、努力することが大切」という言葉が響きました。また、共通テストに向けた勉強も大切ということで、今のうちに苦手な教科の勉強に励もうと思うこともできました。（2年女子）



⑦理学・工学Ⅱ

『カーボンナノチューブと人工光合成：カーボンニュートラルへの挑戦』

富山大学 都市デザイン学部 材料デザイン工学科
教授 高口 豊 先生

- ・ 高校で学ぶことは大学へ行くと全体の10%くらいでしかないと聞いてびっくりしました。カーボンナノチューブや光触媒の話は少し難しかったけどすごく興味を持ったし、とても楽しかったので、講義を受けて良かったなと思いました。（1年女子）



⑧理学・工学Ⅲ 『かしこい人・かしこい機械』

富山県立大学 工学部 知能ロボット工学科 准教授 本吉 達郎 先生

- ・AIは何でもできる完璧なものではないことが分かった。人間が手を加えることで知識を得たりして、AIは人間が育てていくものだと感じました。また、自動運転にはレベルがあって、完全に自動化するのはまだまだ先になることが意外だった。事故のない完全自動運転化になるためには、AIの成長が必要でまだまだ難しい課題だと思った。(1年男子)



⑨理学・工学Ⅳ 『水素エネルギーと最新電池技術』

富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授 脇坂 暢 先生

- ・地球温暖化が進んでいる中、低炭素社会を目指すために各国、各団体で再生可能エネルギーを使った持続可能な社会を目指していると知った。大学で環境・社会基盤工学科に進学したときには、低炭素社会の実現に向けての手助けとなる方法を学び、就職後はその研究で社会に貢献していきたいと思いました。(2年男子)



⑩理工学部Ⅴ 『有機化学は魔法の科学 新物質で豊かな未来を！』

富山県立大学 工学部 医薬品工学科 教授 小山 靖人 先生

- ・自分が聞いたことのないような物質がたくさん登場し、進学してより詳しく勉強したいと思った。また、富山県には医薬品メーカーが80社近くもあり、薬の県であることを改めて実感しました。(2年男子)
- ・思っていた以上に自分たちの身の回りに化学に関連するものが多いことがわかり、楽しく聞くことができた。また、もっと知りたいこともあったので、自分なりに調べてみたいと思った。(2年女子)



⑪医療Ⅰ 『がんと診断されたら』

富山県立大学 看護学部 看護学科 准教授 比嘉 肖江 先生

- ・今回の講義で、「まず自分のケアをすることが重要！」という言葉が心に響いた。自分が健康でないと、患者さんも健康になれないという言葉にとっても納得した。例えば、友達が何かで悩んでいるとき、自分が元気でないと友達も相談しにくいし、さらに友達が落ち込んでしまったりしてしまう。他人と接する仕事を目指しているので、自分の健康をしっかりと管理することは重要だと思った。(2年女子)



⑫医療Ⅱ 『いのちのエンジニア～臨床工学技士の魅力～』

北陸大学 医療保健学部 医療技術学科 教授 清水 芳行 先生

- ・臨床工学技士という仕事は初めて聞いて、話を聞くと魅力的な部分も多くあって進路選択の参考にしようと思いました。医療の世界は進歩が速く、新しい技術や機械に対応しないといけなくて、新しい知識を日々身に付けていかないといけないと思いました。(2年男子)